



## 教室マルトリートメントって知っていますか？

今回は、ちょっと授業づくりから離れて、「不機嫌な学校」にならないためにはどうすればいいのかということで、「2022 総合教育技術 秋号 (小学館)」に掲載されていた原稿を紹介したいと思います。

みなさんは、「マルトリートメント」という言葉をご存じですか？マルトリートメントの意味は、家庭における「不適切な養育」という意味らしいです。身体的、心理的、性虐待やネグレクトなどを含む広い範囲での意味を指すそうです。一方、学校での教師の不適切な指導を何というかということ「教室マルトリートメント」というそうです。体罰やハラスメントのような違法行為だけでなく、日常的のよく見かけがちで子供の心を知らず知らずのうちに傷つけているような「適切でない指導」を指すようです。ここで示されていたのは、毒語という例です。日常よく使う言葉が子供の心を知らずに傷つけていることを示しています。紹介しますと…

### 《不適切な毒語の例》

#### ●質問形式で問い詰めるような毒語

- ・何回言われたらわかるの？
- ・どうしてそういうことをするの？
- ・ねえ、何やっているの？
- ・誰に向かってそんな口の利き方をするんだ？

#### ●脅して動かそうとするような毒語

- ・早くしないと、〇〇させないから
- ・じゃあ、〇〇できなくなるけどいいんだね
- ・もうみんなとは〇〇させられない

#### ●本当の意図を語らずに、裏を読ませるような毒語

- ・やる気がないんだったら、もうやらなくていいから (→本当は「やりなさい」)
- ・勝手にすれば (→本当は「勝手なことは許さない」)
- ・あなたの好きにすれば (→本当は「言うことを聞きなさい」)

#### ●下学年の子と比較するような毒語

- ・そんなこと1年生でもやりません
- ・そんな子は1年生からやり直してください
- ・保育園 (幼稚園) に戻りたい？

#### ●指導者側に責任がないことを強調するような毒語

- ・ダメって言ったよな
- ・もうやらないはずだったよな
- ・さっき約束したばかりだよ

(「教室マルトリートメント」川上康則著、東洋館出版社)

皆さんいかがでしょう？ついつい使ってしまう言葉ですよ。その一言一言に子供の心が傷ついていることがあります。皆が笑顔で過ごしやすい学校にすることができれば、「不機嫌な学校」から脱却していくことができそうですね。まずは、一言に気を配ってみるのもいいかもしれません…。